

# シラバス集

マロニエ医療福祉専門学校

看護学科 3年

2024年度

# シラバスの見方

※この PDF ファイルには目次(しおり)がついています。スマートフォンを使用中の方は画面上の設定等から目次を呼び出してご利用ください。

授業科目名	①		
実務経験講師	②	実務経験	③
開講年度	④ 年度	学 期	⑥
年 次	⑤ 年次	授業回数	⑦ 回
単 位 数	単位	単位時間数	時間
授業科目の概要	⑧		
授業科目の到達目標	⑨		

## 授業スケジュールと内容

回	内 容	授業方法	課題／小テスト
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7		⑩	
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

使用テキスト	⑪
参考書・資料 等	
この授業科目の前提となる主な科目	
この授業科目から発展する主な科目	
成績評価の方法	
その他 受講生への要望等	

### ① 授業科目名

### ② 実務経験講師

講師に担当する科目に関する実務経験がある場合、「○」がついています。

実務経験とは・・・資格をもっているだけではなく、実際の施設等で資格を活かして働いた経験があるということ。

※一部を除き、違う学校で同様の科目を教えている等の教員経験は実務経験に含まれません。

### ③実務経験

担当講師の実務経験内容を簡単に記してあります。

### ④開講年度

### ⑤年次

授業を受ける学年です。

### ⑥学期

前期・・・4月～9月

後期・・・10月～3月

通年（全期）・・・1年間を通して、もしくは前期～後期にかかるどこかの期間で

### ⑦授業回数

### ⑧授業科目の概要

授業内容のたまかな説明です。

### ⑨授業科目の到達目標

授業が修了した時に到達すべき学修の目標です。

### ⑩授業スケジュールと内容

内容・・・1回の授業がどのような内容で構成されているか

授業方法・・・講義、演習、実習など

課題/小テスト・・・その授業の回に課題や小テストが課されている場合は記載されます。予習の内容が書かれている場合もあります。

### ⑪使用テキスト

授業で使用するテキストの情報です。プリント等オリジナル教材を使用する場合もあります。

別表 I - 6

## 看護学科 授業科目一覧

区分	教育内容	授業科目名	指定規則 単位数	学校指定		1年次		2年次		3年次		
				単位数	時間数	単位	時間	単位	時間	単位	時間	
基礎分野	科学的思考の基礎	論理科学	1	30	1	30						
		情報科学	1	15	1	15						
		生活科学	1	15	1	15						
		教育科学	1	15			1	15				
	人間と生活・社会の理解	倫理科学	1	15	1	15						
		社会学	1	15	1	15						
		心理学	1	30	1	30						
		人間関係論	1	30	1	30						
		カウンセリング論	1	15			1	15				
		家族論	1	15			1	15				
		地域論	1	15	1	15						
		英語	1	30	1	30						
		運動と健康 I	1	30	1	30						
		運動と健康 II	1	15			1	15				
基礎分野・小計			14	14	285	10	225	4	60	0	0	
専門基礎分野	人体の構造と機能・ 疾病の成り立ちと回復の促進	生化栄養学	1	30	1	30						
		人体の構造と機能総論	1	30	1	30						
		人体の構造と機能 I	1	30	1	30						
		人体の構造と機能 II	1	30	1	30						
		人体の構造と機能 III	1	30	1	30						
		人体の構造と機能 IV	1	30	1	30						
		人体の構造と機能 V	1	30	1	30						
		疾病治療総論	1	30	1	30						
		微生物学と感染症	1	30	1	30						
		疾病治療論 I	1	30	1	30						
		疾病治療論 II	1	30	1	30						
		疾病治療論 III	1	30	1	30						
		疾病治療論 IV	1	30	1	30						
		疾病治療論 V	1	30			1	30				
		疾病治療論 VI	1	30			1	30				
		臨床薬理学	1	30	1	30						
	健康支援と 社会保障制度	総合医療論	1	15	1	15						
		公衆衛生学	1	15			1	15				
		社会福祉論 I	1	15	1	15						
		社会福祉論 II	1	15			1	15				
		関係法	1	15					1	15		
		医療と経済	1	15			1	15				
専門基礎分野・小計			22	22	570	16	450	5	105	1	15	
専門分野	基礎看護学	基礎看護学概論	1	30	1	30						
		基礎看護学方法論 I	1	30	1	30						
		基礎看護学方法論 II	1	30	1	30						
		基礎看護学方法論 III	1	30	1	30						
		基礎看護学方法論 IV	1	30	1	30						
		基礎看護学方法論 V	1	30	1	30						
		基礎看護学方法論 VI	1	30	1	30						
		基礎看護学方法論 VII	1	30	1	30						
		看護過程	1	30			1	30			1	30
		看護研究	1	30								
		臨床看護総論	1	15	1	15						
	基礎看護学実習 I	1	45	1	45							
		2	90			2	90					
		基礎看護学実習 II	2	90			2	90				
	地域・在宅看護論	地域・在宅看護学概論	1	30	1	30						
		地域・在宅看護方法論 I	1	15			1	15				
		地域・在宅看護方法論 II	1	15			1	15				
		地域・在宅看護方法論 III	1	15			1	15				
		地域・在宅看護方法論 IV	1	30			1	30				
		地域・在宅看護方法論 V	1	30			1	30				
	地域・在宅看護論実習	2	2	90					2	90		
	成人看護学	成人看護学概論	1	30	1	30						
		成人看護学方法論 I	1	30			1	30				
		成人看護学方法論 II	1	30			1	30				
		成人看護学方法論 III	1	30			1	30				
		成人看護学方法論 IV	1	30			1	30				
		成人看護学方法論 V	1	30			1	30				
		成人看護学実習 I	2	90			2	90				
		成人看護学実習 II	2	90			2	90				
	老年看護学	成人看護学実習 III	2	90			2	90			2	90
		老年看護学概論	1	30	1	30						
		老年看護学方法論 I	1	30			1	30				
		老年看護学方法論 II	1	15			1	15				
		老年看護学方法論 III	1	30			1	30				
	小児看護学	老年看護学実習 I	2	90			2	90				
		老年看護学実習 II	2	90			2	90			2	90
		小児看護学概論	1	30	1	30						
		小児看護学方法論 I	1	15			1	15				
	母性看護学	小児看護学方法論 II	1	30			1	30				
		小児看護学方法論 III	1	30			1	30				
		小児看護学実習	2	2	90					2	90	
		母性看護学概論	1	30	1	30						
精神看護学	母性看護学方法論 I	1	15			1	15					
	母性看護学方法論 II	1	30			1	30					
	母性看護学方法論 III	1	30			1	30					
	母性看護学実習	2	2	90					2	90		
	精神看護学概論	1	30	1	30							
看護の統合と実践	精神看護学方法論 I	1	15			1	15					
	精神看護学方法論 II	1	30			1	30					
	精神看護学方法論 III	1	30			1	30					
	精神看護学実習	2	2	90					2	90		
	看護の統合と実践 I	1	30			1	30					
看護の統合と実践	看護の統合と実践 II	1	30			1	30					
	看護の統合と実践 III	1	15					1	15			
	看護の統合と実践 IV	1	30					1	30			
	看護の統合と実践実習	2	2	90					2	90		
専門分野 小計			66	66	2,190	16	480	31	915	19	795	
合 計			102	102	3,045	42	1,155	40	1,080	20	810	

授業科目名	関係法規		
実務経験講師	－	実務経験	－
開講年度	2024 年度	学 期	後期
年 次	3 年次	授業回数	8 回
単 位 数	1単位	単位時間数	15時間
授業科目の概要	看護職が質の高い看護を提供するには、社会人として豊かな人生を送り、職業人として任務を果たすことが必要である。そのためには高い教養を持ち、深い専門的知識と優れた技術技能を身に着けるとともに、我が国の保健医療福祉に関する諸制度の概要と諸法令を理解することが必要である。		
授業科目の到達目標	1. 法の意義について考えることができる。 2. 看護に関連する各法律の概要を理解できる。 3. 学習した法律をもとに、看護職としての職務を遂行するための根拠や判断基準がわかる。		

#### 授業スケジュールと内容

回	内 容	授業方法	課題／小テスト
1	法の概念 看護法 医事法	講義	
2	労働・雇用に関する法律	講義 演習	
3	薬務法	講義	
4	社会福祉に関する法律	講義	
5	保健衛生に関する法律	講義	
6	社会保険に関する法律	講義	
7	環境法、その他の関係法令	講義	
8	終講試験	講義	

使用テキスト	系統看護学講座 看護関係法令 医学書院
この授業科目の前提となる主な科目	専門分野
この授業科目から発展する主な科目	公衆衛生、社会福祉学、専門分野、統合分野
成績評価の方法	評価配点：終講試験93点 出席7点
その他 受講生への要望等	

授業科目名	基礎看護学 看護研究		
実務経験講師	○	実務経験	看護師
開講年度	2024 年度	学 期	前期
年 次	3 年次	授業回数	15 回
単 位 数	1 単位	単位時間数	30 時間
授業科目の概要	<p>科学・医学の発展と共に、世界では新しい技術や情報が日々発信されています。医療関係者でなくとも最新の医療情報を Web 上で簡単に得られる時代になり、看護師は氾濫する情報の中から信頼できる最新の情報を基に看護を行うことを求められています。「この看護援助に科学的根拠はあるのか」「より効果的でより効率の良いかご援助を行うためにはどうすればよいか」等、臨床で遭遇するこういった問題に答えてくれるのが研究論文です。この授業では、まず、科学的根拠のある正しい情報の収集方法から研究論文の読み方を学び、臨床に役立つ知識を得る方法を実践の中で身につけていきます。その後、研究方法について学び、研究計画の立案と事例研究レポートまでを一通り経験することで、知識を得る側から提供する側になるための基礎的な知識を習得します。</p>		
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 様々な研究手法の特徴を説明できる</li> <li>2. 研究計画書の作成意義と作成方法を説明できる</li> <li>3. 事例研究をまとめ、発表することができる。</li> </ol>		

#### 授業スケジュールと内容

回	内 容	授業方法	課題／小テスト
1	看護研究とは		
2	看護研究のはじめ方 リサーチクエスチョンをたてる		
3	情報の探索と吟味 文献レビューとその方法		
4	研究における倫理的配慮 研究デザイン		
5	研究の設計と方法の選択		
6	データの収集と分析		
7	研究計画書の作成		
8	〃		
9	事例研究の進め方		
10	事例研究レポート作成		
11	〃		
12	〃		
13	〃		
14	〃		
15	終講試験		

使用テキスト	系看 別巻 看護研究 医学書院
参考書・資料 等	*図書館での文献検索を基本に考えています。インターネットによるものも利用します。
この授業科目の前提となる主な科目	基礎看護学概論
この授業科目から発展する主な科目	各領域実習
成績評価の方法	学科70点 レポート30点(評価表に基づく)
その他 受講生への要望等	「患者さんの笑顔が見たい」「もっと役に立ちたい」「もっと楽に仕事がしたい」「これ意味あるの?」「このルールほんとに必要?」そんな人間らしい欲求や疑問が多くの研究を生み出しました。ネガティブな気持ちを感じたら、研究のチャンスです。ぜひ一緒にそんな気持ちを研究にしていきましょう!

授業科目名	看護の統合と実践Ⅳ		
実務経験講師	○	実務経験	看護師
開講年度	2024年度	学 期	後期
年 次	3 年次	授業回数	15 回
単 位 数	1 単位	単位時間数	30 時間
授業科目の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業看護の基本的知識を学ぶ。</li> <li>・複数患者事例の看護展開を行う。シミュレーション演習の中で、突発的事象を含めた多重課題に対し、優先順位の決定、時間管理の方法を学ぶことを目的とする。また臨地実習において体験できなかった看護技術や、卒業後を見越した診療の補助技術についての実践も演習を通して学ぶ。</li> </ul>		
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 企業の健康管理について述べられる</li> <li>2. 入院患者の情報収集の方法について述べられる</li> <li>3. 複数事例を受け持つための情報収集の方法について述べられる</li> <li>4. 複数の患者を受け持ち、優先順位を考えた行動計画が立案できる</li> <li>5. 突発的事象に対し、優先順位を考えて援助を実施する</li> <li>6. 臨床で遭遇しやすい突発的事象に対し、他者と連携しながら状況に応じた看護ケアを経験する</li> <li>7. 与薬(経口薬・外用薬・座薬・麻薬)の投与方法を理解できる</li> </ol>		

#### 授業スケジュールと内容

回	内 容	授業方法	課題／小テスト
1	・産業看護①	講義	
2	・産業看護②	講義	
3	・複数患者を受け持つための情報収集①	講義	
4	・複数患者を受け持つための情報収集② GW	講義	提出物:レポート① 「複数患者の情報収集」
5	・多重課題への対処①	講義	
6	・多重課題への対処②	講義	提出物:レポート② 「多重課題の対処」
7	・時間管理(タイムマネジメント)の方法①	講義	
8	・複数患者の看護問題#のアセスメント① 個人ワーク	講義	配布物:複数患者事例 レポート③ 個人ワーク用 「複数患者#のアセスメント」
9	・複数患者の看護問題#のアセスメント② グループワーク	講義	提出物:レポート③ GW 用 「複数患者#のアセスメント」
10	・複数患者受け持ち時のタイムスケジュール作成② 個人ワーク	講義	配布物: レポート④ 個人ワーク用 「タイムスケジュール」

11	・複数患者受け持ち時のタイムスケジュール作成② グループワーク	講義	提出物:レポート④ GW用 「タイムスケジュール」
12	・与薬の基本的知識と実施方法 経口薬、経皮、外用薬、座薬の投与 抗悪性腫瘍薬の取り扱い ・多重課題演習 オリエンテーション	講義	
13	多重課題への対処をふまえた援助技術の実施 ・行動計画に基づいた演習、突発的事象への対応 ・与薬の実施	演習	
14	多重課題への対処を踏まえた援助技術の振り返り ・グループ毎でのリフレクション、まとめ	演習	提出物:レポート⑤ 「演習の振り返り」
15	終講試験	試験	

使用テキスト	既習で使用したテキスト全般
参考書・資料 等	既習で使用したテキスト全般
この授業科目の前提となる主な科目	専門基礎分野、専門分野Ⅰ、専門分野Ⅱ全般
この授業科目から発展する主な科目	科目全般
成績評価の方法	評価時期:終講時 塚田 90点 今井 10点
その他 受講生への要望等	3年間で修得した基礎知識・技術・態度をふまえ臨むこと。提出物は、提出期限を厳守。 本科目の単位修得は、卒業予定年次に履修することが条件となります。